

令和元年度核燃料サイクル関係推進調整等委託事業
「つるが国際シンポジウムの実施」評価結果

評価の視点	評価結果	委員専門分野		
		原子力	コミュニケーション	地元関係者
妥当性	A	a	a	a
有効性	A	a	a	a
効率性	A	a	a	a
印象性・持続性	A	a	b	a

総合評価	A
------	---

業務評価について

【評価の目的】

本事業が、より効率的・効果的となる事業の改善を図るため、業務レベルでの客観性を確保した定量的・定性的な総合評価を実施する。

【業務評価委員会の設置】

業務評価の客観性を確保するため、原子力、コミュニケーション、地元関係者の外部有識者からなる業務評価委員会を設置する。

そのうち1名を委員長とし、評価・意見等の調整を図る。

【評価の実施段階】

事後評価

- 実施対象に対する直接的な業務実施後に実施する。実施時期は文部科学省と調整の上、決定する。
- 業務の実績の把握・分析を行い、促進・阻害要因を含め、評価の視点から定量的・定性的に評価し、その評価を踏まえ総合的に評価する。
- 評価結果から目的、成果、方法など業務の今後のあり方について、評価結果の活用・反映による改善の検討に資する意見を行う。

【評価の視点】

1. 妥当性

試験研究炉や原子力等の理解促進策としての整合性やニーズに対する必要性、問題への解決策としての適切性などについて評価

2. 有効性

成果目標の達成度について評価

3. 効率性

成果目標の達成に対する手法として、実施内容と成果の関係における経済性・適正性について評価

4. 印象性・持続性

地域住民等に対するアンケート調査結果の動向、試験研究炉や原子力等についての知識の理解促進及びより高度な知識への興味・関心の波及など、発現した効果について評価

【評価の指標】

目的・成果の達成度や効果の発現に向け、設定した評価指標により、継続的に測定し、実績にかかる一貫性のある情報を収集する。評価指標は、統一的事項及び業務の内容に応じた指標を設定する。

《統一的事項》

1. 試験研究炉や原子力等の基礎的な知識の理解促進

2. 試験研究炉や原子力等に関する知識の理解促進の実施・手法

3. 試験研究炉や原子力等に関する知識の理解促進実施の持続

4. 試験研究炉や原子力等に関するより高度な知識への興味・関心の波及

【評価の方法】

事後評価では、評価の視点それぞれについて「a b c」の3段階で個別に評価し、その結果をもとに「A B C D」の4段階で総合的に評価する。

個別評価は、以下の基準により実施する。評価は、委員それぞれが実施し、取りまとめた結果、最も多い評価を評価結果として採用する。

なお、評価結果が同数となった場合には、委員会にて検討の上、委員長が裁定して評価結果を決定する。

1. 妥当性

a：整合性、必要性、適切性などが認められる。

b：整合性、必要性、適切性などに一部問題がある。

c：整合性、必要性、適切性などに重大な問題がある。

2. 有効性

a：成果目標の100%以上

b：成果目標の80%以上100%未満

c：成果目標の80%未満

3. 効率性

a：経済性・適正性が認められる。

b：経済性・適正性に一部問題がある。

c：経済性・適正性に重大な問題がある。

4. 印象性・持続性

a：理解促進、興味関心、波及などの効果が認められる。

b：理解促進、興味関心などの効果が認められる。

c：理解促進や興味関心の可能性などの効果が認められる。

総合評価は、上記の個別評価の結果をもとにフローチャートに従って実施する。フローチャートは、別添1「業務評価 総合評価フローチャート」を参照。

【評価の手順】

1. 業務評価委員会の開催

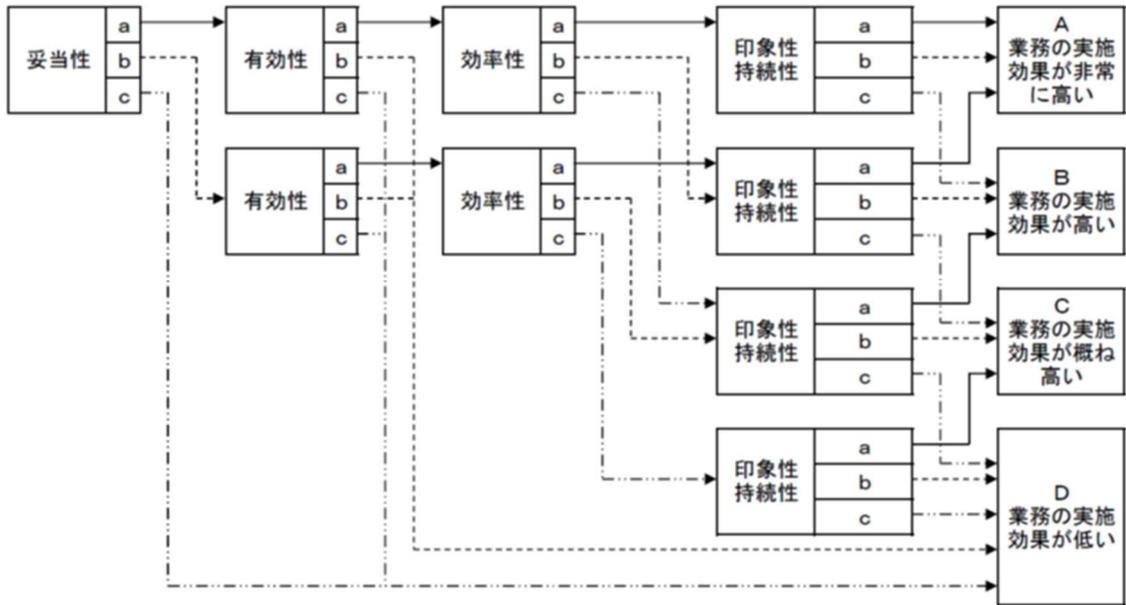
- 委員に対して、業務実績や自ら行った個別評価の結果などを説明する。
- 委員の評価シート（様式1）を取りまとめ、総合評価シート（様式2）を作成して委員長との了解を得るとともに、評価結果や意見を取りまとめて業務評価報告書を作成する。

2. 業務評価報告書の提出

- 作成した業務評価報告書について、委員の承認を得た上で文部科学省に提出する。

別添1

業務評価 総合評価フローチャート



様式 1

業務評価 評価シート

委託業務の題目「つるが国際シンポジウムの実施」

評価の視点	評価	コメント
妥当性		
有効性		
効率性		
印象性・持続性		

評価委員氏名: _____

様式 2

業務評価 総合評価シート

委託業務の題目「」

評価の視点	評価結果	【評価委員氏名】	【評価委員氏名】	【評価委員氏名】
		原子力	コミュニケーション	地元関係者
妥当性				
有効性				
効率性				
印象性・持続性				

総合評価	
------	--

業務評価委員長: _____